

2006年2月27日

利用者や家族が求める特養ホームの介護者について

NPO 特養ホームを良くする市民の会
代表 本間 郁子

平成14年8月の入居基準の改正、平成15年の介護報酬の改正に伴って、特養ホームの入居者の現状は、急速に重度化、高齢化してきている。

平成14年は、要介護度4と5で約50%を占めていたが、平成15年には約62%となった。平均年齢では平成14年には約83歳であったが、平成15年は85歳となった。(特養ホームを良くする市民の会調査による：平成14年、平成15年)

「安心」して「安全」に暮らすことができるサービスの質の確保の観点から、介護職員の資質は重要な課題となっており、早急に次のことを検討していただきたいと思います。

1. 介護福祉士は専門職として、社会的な責任をどこまで担えるのか
 - ・介護福祉士の養成機関である福祉専門学校、大学関係学部による知識・技術の格差が大きい。
 - ・施設での実習の実態把握と効果・評価が適切に行われているか。
 - ・養成機関のカリキュラムに「人間性を高める」「想像力・感性を高める」ための教育プログラムの導入は充分検討されているか。
 - ・コミュニケーションが困難な入居者が増加しているが、介護者のコミュニケーション能力は充分対応できているとはいえず大きな課題となっている。介護者と介護を受ける人の社会的背景、経済背景の相違に着目したコミュニケーション論が教育されているか、また、それを補う手法は考えられているのか疑問がある。

「市民の会」の調査によると、常勤介護職は20代が52%を占めており、入居者の平均年齢は85歳。その年齢差は約60歳である。介護者と介護受け人とのライフスタイルの相違、価値観の相違などが、「ケアの質」に少なくとも影響を与えているのではないか。
 - ・「書く力」＝「記録の書き方」が非常に乏しく、信頼性やケアの評価がしにくい状況となっている現状であるが、プロとしての職業意識は育成されているのか。

2. 専門職に見合う報酬のあり方の検討が急務
 - ・本人（介護職）の努力、能力の向上だけを求めても限界がある。
 - ・仕事の内容と責任の評価を行い、福祉は奉仕ではなく、サービスとして位置づけていくためにも適正な賃金の保障が必要である。
 - ・ケアは積み重ね（経験）によって、1人ひとりに対応できる柔軟なケアが可能になってくる場合が多い、働き続けられる賃金を保障することは、「やる気」「希望」にもつながってくる。

3. 施設理念と組織マネジメントの明示が必要
 - ・経営者の理念が明確で、運営の判断基準が理念に基づいて行われているか。
 - ・経営者層の資質について評価する手段がないのは問題ではないか。
 - ・運営組織が明確に示され、中間管理職が一体化した考え方で教育が行われているか。
 - ・職員誰もが発言しやすい職場環境を作っているか。

調査の概要

■調査の目的

入居者が自分らしく最期まで尊厳を持って生きることができるよう、看取りの場の選択の可能性を広げ、安心して看取られ、看取ることができるよう支援する側の実態調査から問題点や課題を明らかにすることを目的とする。

■調査の方法

特養ホームを良くする市民の会が主体となって行った、3年間の訪問調査の中から、ターミナルケアを行っていると回答した施設のうち、300施設をランダムに抽出してアンケート調査票を送付した。

調査票の配布の際に、調査票はターミナルケアの責任者あるいは、もっとも良く現状を把握している職員に記入してもらうよう依頼した。

■調査期間

2003年10月1日～10月31日

■調査回答数

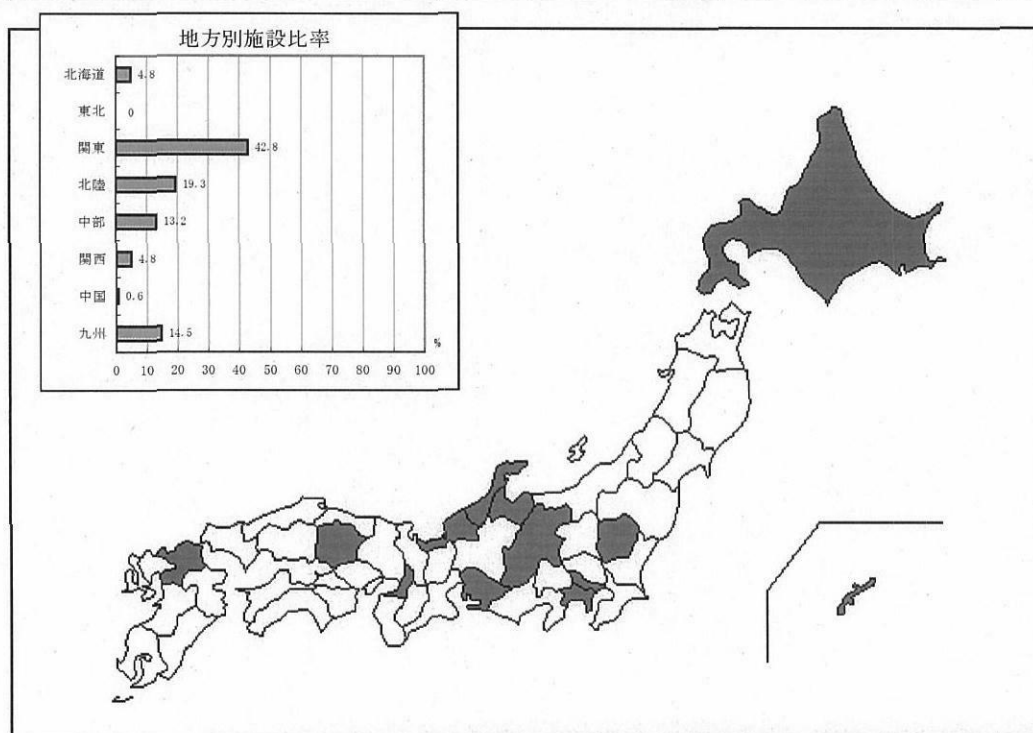
・調査票送付総数	300 施設
・回答数	166 施設
・回収率	55.3 %
・有効回収率	55.3 %

■ 施設の所在地および施設数

所在地	13都道府県
施設数	166施設

[内訳]

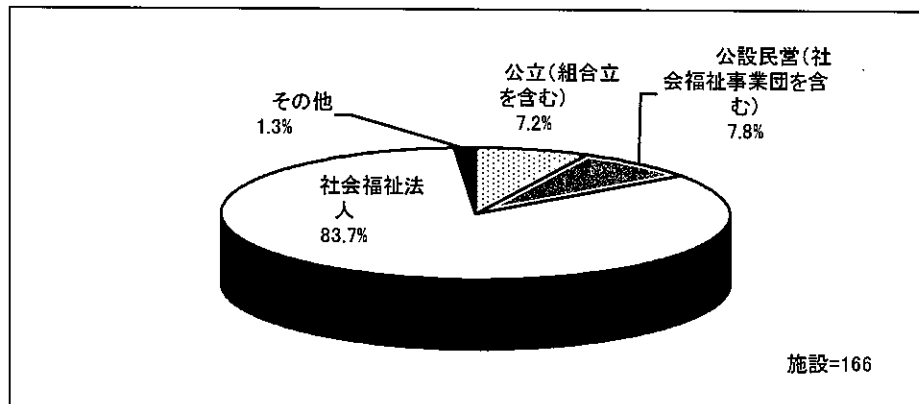
No	都道府県名	施設数	対総施設数比
1	北海道	8	4.8%
2	栃木	7	4.2%
3	東京	38	22.9%
4	神奈川	26	15.7%
5	富山	16	9.6%
6	石川	10	6.0%
7	福井	6	3.6%
8	長野	17	10.2%
9	愛知	5	3.0%
10	大阪	8	4.8%
11	岡山	1	0.6%
12	福岡	6	3.6%
13	沖縄	18	10.8%
計	13	166	100%



「ターミナルケア」アンケート調査結果

1. 設置主体

設置主体	施設数	%
公立（組合立を含む）	12施設	7.2%
公設民営（社会福祉事業団を含む）	13施設	7.8%
社会福祉法人	139施設	83.7%
その他	2施設	1.3%
計	166施設	100%



2. 施設の定員

(施設数=166)

区分	平均	最小の施設	最大の施設
入居者	79.7人	30人	200人
ショートステイ	10.8人	0	34人

※施設の定員（詳細）

定員	施設数	%
30人台	3施設	1.8%
40人台	0	0%
50人台	45施設	27.1%
60人台	11施設	6.6%
70人台	17施設	10.2%
80人台	29施設	17.5%
90人台	6施設	3.6%
100人台	40施設	24.1%
110人台	6施設	3.6%
120人台	2施設	1.2%
130人台	2施設	1.2%
140人台	0	0%
150人台	2施設	1.2%
160人台	1施設	0.6%
170人台	1施設	0.6%
180人台	0	0%
190人台	0	0%
200人台	1施設	0.6%
計	166施設	100%